

2. 修学上の情報等

10.各学科・コースの教育目標、学習成果と3つのポリシー

佐賀女子短期大学「教育目標」「学習成果」「3つのポリシー」

我が国の高等教育機関は、既に「ユニバーサル段階」にあり、「大学全入」ともいえる時代にある。多様な背景や価値観を持つ学生たちに対応していくために、これからの短期大学には、使命と教育目標をより一層明確にし、個性豊かな教育とその質保証を社会に示していく教育改革が求められている。

佐賀女子短期大学は、開設以来50年を超える長い歴史の中で、さまざまな改善・改革に取り組み、高等教育機関としての責務を果たしてきた。今後も、地域社会の発展に貢献する短期大学として、佐賀県唯一の女子教育の伝統と歴史には期待が寄せられるところである。建学の精神のもと、時代の変遷に対応し、且つ未来の社会を予測した教育改革に取り組み、佐賀の精神風土を大切にしながら佐賀の発展に貢献していかなければならない。

本学は、今後、学習成果の評価はもとより、学生のレディネス調査やアウトカム調査、社会のニーズ調査などを展開し、十分なエビデンスを根拠に、専門性のディシプリンや短期大学教育のコア・カリキュラムを再構築して、高いレベルでの学習成果の獲得を目指していく。同時に、組織力や教育力の向上に努め、組織的評価文化の形成を図り、持続可能性を追究した教育改革サイクルを自主的・自律的に実施していき、本学のブランド化を遂行していく。

教育改革の具現化に向け、以下に、短期大学レベル、学科レベル、およびコースレベルの「建学の精神／教育目標」、「学習成果」、「ディプロマ・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「アドミッション・ポリシー」を顕示する。

佐賀女子短期大学

<建学の精神（教育目標）>

本学は、教育基本法並びに学校教育法に準拠し、順和、礼譲、敬愛、奉仕の精神涵養を学園訓として、真の女性としての天分を養い、女性にふさわしいそれぞれの個性、能力に応じた教育によって資格、技芸を身に付け、将来の社会生活、家庭生活の発展向上に尽くす人材を育成する。

<学習成果>

本学は、建学の精神に基づき、社会のニーズに応えた2学科・7コースを設置し、幅広い教養と専門的知識、技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、これからの予測困難な時代の中で社会を生き抜く力を培い、子どもと地域の未来創造に資する能力を修得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本学は、本学の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人
5. 学科やコースが求める専門性の基盤を構築できる人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本学は、本学のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育

2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等
3. 学科やコースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本学は、本学のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 志望する学科やコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

地域みらい学科

<教育目標>

本学科は、建学の精神に基づき、順和、礼譲、敬愛、奉仕の精神涵養を学園訓として、豊かな人間性と教養をそなえ、広い視野と確かな職業観を持ち、女性の可能性を広げ、主体的に地域の未来創造に貢献していく人材を育成する。

<学習成果>

本学科は、本学科の教育目標を実現するために、「福祉とソーシャルケアコース」、「韓国語文化コース」、「グローバル共生ITコース」、および「司書アーカイブズコース」の4つのコースを設置し、地域総合科学科としてのコース固有の教育課程、およびコース横断的な教育課程のもと、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、主体的な職業ビジョンや広い専門的視野を身に付け、地域の未来を創造していく力を修得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本学科は、本学科の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人
5. コースが求める専門性の基盤を構築できる人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育
2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等
3. コースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

福祉とソーシャルケアコース

<教育目標>

本コースは、建学の精神に基づき、学際的な福祉の専門家としての価値観、倫理観、および使命感を身に付け、国際・地域社会の未来を主体的に創造していく人材を育成する。

<学習成果>

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、介護福祉士の国家資格取得を核とした教育課程、および豊かなQOLの獲得を目的とした生活支援技術に関するカリキュラムを展開し、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、超高齢社会の将来を見据え、国際・地域社会の今日的課題を解決し、未来創造に貢献していく力を修得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（介護福祉学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 介護を必要とする人の心に寄り添い、その立場に立って考えることができ、適切に行動することができる人
3. 介護福祉士に必要な幅広い専門知識と、個性性を理解した根拠のある生活支援技術を身に付けている人
4. 生活支援技術の理論と実践を統合し、個別介護計画の立案・実施・評価ができる人
5. 福祉の現状に関心を持ち、予想される未来について推察する力を身に付けている人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学、および学科共通のキャリア教育
2. 建学の精神に則り、介護福祉士としての知識・技術を身に付け、専門職としての意識を高めるカリキュラム
3. 「介護の基本」を重視し、感性豊かな人間性と幅広い教養を身に付け、介護を必要とする人との信頼関係のスキルについて実践的に学ぶカリキュラム
4. 介護福祉の専門性を高めるために介護過程の展開技法を身に付け、介護を計画的に実施し、その結果を自ら評価できる能力を高めるカリキュラム
5. 介護福祉士として求められる高い医学知識・技術を身に付け、保健医療福祉従事者と連携・協働し、チームに参画する実践力を高めるカリキュラム

6. 介護を必要とする人の生命や人権を尊重し、自立支援の視点から生活支援を理解するカリキュラム

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 高齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人を尊重できる人
6. 人や社会、地域と触れ合うことに喜びを感じることができる人
7. 礼儀正しく、笑顔を心掛けていて人との調和を築ける人
8. 福祉の知識・技術の修得を身に付けようと努力する人

韓国語文化コース

<教育目標>

本コースは、建学の精神に基づき、多文化共生社会である私たちの地域の要請に、特に韓国語能力を使って、また韓国文化への理解を通じて、積極的に応えようとする人材を育成する。

<学習成果>

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、傾聴力、表現力、チームビルディングを基礎力として育成する。その上で、韓国語能力の獲得と多文化や韓国文化の理解を中心とした教育課程を展開し、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、国際的な視野を持って、地域の未来創造に資する能力を修得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（多文化共生学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人
3. 多文化共生力、専門的知識・技能（外国語力、特に韓国語能力さらに韓国文化への深い理解）を国際・地域社会で主体的に活用できる人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学、および学科共通のキャリア教育
2. グローバル社会、地域社会において、傾聴力、思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育
3. グローバル社会、地域社会において、さまざまな言語、文化背景を持つ人々とともに生きる多文化共生力の育成を目的とした外国語教育、多文化理解教育

4. 多文化共生社会において、外国語、特に韓国語を駆使したコミュニケーション能力を育成する教育、さらに韓国文化を深く理解する教育

<アドミSSION・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 多文化理解や、外国語学習、特に韓国語能力や韓国文化への探求心があり、自らの目標に向かって努力しようとする人
6. 国内外インターンシップや国内外グローバル体験に積極的に参加し、地域社会の一員として貢献しようとする意欲がある人

情報デザイン・コミュニケーションコース

<教育目標>

本コースは、建学の精神に基づき、第4次産業革命が急速に進展する社会、また多文化共生社会のなかで、地域の要請に対応し、みずからの知識や技能を以て、積極的に応えようとする人材を育成する。

<学習成果>

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、傾聴力、表現力、チームビルディングを基礎とし、さらに外国語力、ITやデザインに関するスキルの獲得を中心とした教育課程を展開し、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、国際的な視野を持って、地域の未来創造に資する能力を修得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（多文化共生学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人
3. 多文化共生力、専門的知識・技能（外国語力、ビジネス能力、ITとデザインに関わる専門的知識・技能）を国際・地域社会で主体的に活用できる人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学、および学科共通のキャリア教育
2. グローバル社会、地域社会において、傾聴力、思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育
3. グローバル社会、地域社会において、さまざまな言語、文化背景を持つ人々とともに生きる多文化共生

力の育成を目的とした外国語教育、多文化理解教育

4. 第4次産業革命が急速に進む社会において、ITスキルやデザインスキル、さらにスキルを活かしたビジネスデザイン能力を総合的に育成する教育（ITデザイン分野）

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 多文化理解や、外国語学習、ITに関する技術や情報、デザイン分野への探求心があり、自らの目標に向かって努力しようとする人
6. 国内外インターンシップや国内外グローバル体験に積極的に参加し、地域社会の一員として貢献しようとする意欲がある人

司書アーカイブズコース

<教育目標>

本コースは、建学の精神に基づき、高度情報化やグローバル化が急速に進展し続ける社会のなかで、地域の要請に対応し、特に司書としての能力やアーカイブズ（資料記録など）に関する知識や技能を以て、積極的に応えようとする人材を育成する。

<学習成果>

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、傾聴力、表現力、チームビルディングを基礎とし、司書としての知識・技能、アーカイブズの基礎知識の獲得を中心とした教育課程を展開し、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、国際的な視野を持って、地域の未来創造に資する能力を修得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（多文化共生学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 言語を問わず、さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人
3. 多文化共生力、専門的知識・技能（司書としての知識・技能、アーカイブズ学の専門的知識・技能）を国際・地域社会で主体的に活用できる人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることがを目的とした全学、および学科共通のキャリア教育
2. グローバル社会、地域社会において、傾聴力、思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバ

ル教育

3. グローバル社会、地域社会において、さまざまな言語、文化背景を持つ人々とともに生きる多文化共生力の育成を目的とした外国語教育、多文化理解教育
4. 司書として身に付けるべき科目群およびアーカイブズ学の基礎教育

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 多文化理解や、外国語学習、司書分野、アーカイブズ（資料の記録や保存）の探求心があり、自らの目標に向かって努力しようとする人
6. 国内外インターンシップや国内外グローバル体験に積極的に参加し、地域社会の一員として貢献しようとする意欲がある人

こども未来学科

<教育目標>

本学科は、建学の精神に基づき、順和、礼譲、敬愛、奉仕の精神涵養を学園訓として、豊かな人間性と教養をそなえ、広い視野と確かな子ども観を持ち、新しい時代の要請に応じて教育・保育・福祉の世界で活躍し、「子どもの未来」の幸せに貢献できる人材を育成する。

<学習成果>

本学科は、本学科の教育目標を実現するために、「こども教育コース」、「こども保育コース」、および「こども養護コース」の3つのコースを設置し、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、教育者・保育者として子どもの最善の利益を図り、子どもの心身の発達や子育ての現場に寄与できることを目標とした専門的学習成果、および社会人・職業人として求められる基礎的学習成果を獲得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本学科は、本学科の学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 本学で修得した教養と専門的知識・技能を、国際・地域社会で主体的に活用できる人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えることができる人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働できる人
5. コースが求める専門性の基盤を構築できる人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本学科は、本学科のディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学共通のキャリア教育、および学科共通のキャリア教育

2. 思考力、コミュニケーション能力、実践力、および協働力の育成を目的としたインターンシップ、アクティブ・ラーニング、地域連携型授業、およびグローバル教育等
3. コースが定める専門性の基盤獲得を目指した教育課程の編成

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本学科は、本学科のカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本学科の学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 志望するコースが求める専門性の基盤を身に付けようとする人

こども教育コース

<教育目標>

本コースは、建学の精神に基づき、確かな子ども観を持った豊かな感性で乳幼児期から学童期までを視野に入れ、地域の教育力向上に貢献できる質の高い教育者・保育者を育成する。

<学習成果>

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、小学校教諭二種、幼稚園教諭二種、および保育士の3つの免許取得を核とした幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、教育者・保育者として子どもの最善の利益を図り、子どもの心身の発達や子育ての現場に寄与できることを目標とした専門的学習成果、および社会人・職業人として求められる基礎的学習成果を獲得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（こども学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 豊富な社会体験を通して、自ら考える力や幅広い教養とコミュニケーション能力を身に付けることができる人
3. 将来の小学校教諭・幼稚園教諭・保育士等としての目的意識を持ち、使命感と豊かな人間性を備えた人
4. 基礎・基本の学力とともに、専門的知識や実践的技能を身に付けようと努力する人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学、および学科共通のキャリア教育
2. 建学の精神に則り、社会人・職業人として必要な基本的範疇や倫理等について学び、意識を高めるカリキュラム
3. 教育者・保育者として求められるコミュニケーション能力や対人関係のスキルについて実践的に学ぶカリキュラム
4. 教育者・保育者としての使命感と豊かな人間性を持ち、常に子どもに寄り添い、子どもを尊敬する姿勢

を育むカリキュラム

5. 教育者・保育者としての専門的知識や実践的技能を修得し、さまざまな視点から子どもを理解するカリキュラム
6. 問題意識を持って課題を設定し、現場において実習形式で、教育者・保育者としての実践力を高めるカリキュラム

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 子どもが好きで、学童期までの保育や教育に情熱を持てる人
6. 好奇心が旺盛で、何事にも感動できる人
7. 音楽、造形、身体表現などの活動を通して、いろいろな遊びや学びを工夫できる人

こども保育コース

<教育目標>

本コースは、建学の精神に基づき、専門的知識と技能を有し、子どもの視点にたち温かなまなざしを持って、地域社会のニーズに柔軟性に応えられる保育者を育成する。

<学習成果>

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、保育士および幼稚園教諭養成を核とした教育課程を、「子育て支援ユニット」、「発達支援ユニット」、および「保育表現ユニット」の3つのユニットのもとに展開し、幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員として協働の精神を持つとともに、保育者として子どもの最善の利益を図り、子どもの心身の発達や子育ての現場に寄与できることを目標とした専門的学習成果、および社会人・職業人として求められる基礎的学習成果を獲得する。

<ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）>

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（こども学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 保育者としての使命感と豊かな人間性を持ち、常に子どもに寄り添い、子どもを尊重することができる人
3. 保育者としての専門的知識や実践的技能を修得し、様々な側面から子どもを理解し、国際・地域社会における今日的なニーズに対応できる人
4. 保育者として求められるコミュニケーション能力と人間関係を調整する能力を身に付けている人

<カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）>

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学、および学

科共通のキャリア教育

2. 建学の精神に則り、社会人・職業人として必要な基本的範疇や倫理等について学び、意識を高めるカリキュラム
3. 保育者としての使命感と豊かな人間性を持ち、常に子どもに寄り添い、子どもを尊敬する姿勢を育むカリキュラム
4. 保育者としての専門的知識や実践的技能を修得し、様々な側面から子どもを理解するカリキュラム
5. 保育者として求められるコミュニケーション能力と人間関係のスキルについて実践的に学ぶカリキュラム
6. 問題意識を持って課題を設定し、現場において実習形式で、保育に関する実践力を高めるカリキュラム

＜アドミSSION・ポリシー（入学者受入れの方針）＞

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼議、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聴く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
5. 乳幼児が大好きで、保育のスペシャリストになりたい人
6. 感性が豊かで、いろいろな遊びを工夫できる人
7. 子どもや家族の福祉に興味・関心がある人

こども養護コース

＜教育目標＞

本コースは、建学の精神に基づき、保健や衛生の知識や技能を活かし、学校において子どもたちの健康で安全な未来を創造していくことで、地域の教育と保育に貢献できる人材を育成する。

＜学習成果＞

本コースは、本コースの教育目標を実現するために、養護教諭二種、幼稚園教諭二種、および保育士の3つの免許資格を核とした幅広い教養と専門的知識・技能を教授するとともに、専門性をベースとした4つの総合力、すなわち、「女性の社会突破力」、「子どもの未来創造力」、「地域で育む実践力」、および「多文化共生力」を涵養する。これにより、学生は、常に社会の一員としての共同の精神を持つとともに、教育者、保育者として子どもの最善の利益を図り、子どもの心身の発達や子育ての現場に寄与できることを目標とした専門的学習成果、および社会人・職業人として求められる基礎的学習成果を獲得する。

＜ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＞

本コースは、本コースの学習成果に基づき、以下の能力を備え、本学所定の在籍期間と単位取得等の卒業要件を満たした人に対して短期大学士（こども学）の学位を授ける。

1. 「順和、礼議、敬愛、奉仕」の学園訓を身に付け、女性の可能性を広げ、国際・地域社会の発展に貢献できる人
2. 豊富な社会体験を通して、自ら考える力や幅広い教養とコミュニケーション能力を身に付けることができる人
3. 将来の養護教諭・幼稚園教諭・保育士等としての目的意識を持ち、使命感と豊かな人間性を備えた人
4. 基礎・基本の学力とともに、専門的知識や実践的技能を身に付けようと努力する人

＜カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）＞

本コースは、本コースのディプロマ・ポリシーに則り、以下の内容を重視した教育を行う。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓の涵養と女性の可能性を広げることを目的とした全学、および学科共通のキャリア教育
2. 建学の精神に則り、社会人・職業人として必要な基本的範疇や倫理等について学び、意識を高めるカリキュラム
3. 教育者・保育者として求められるコミュニケーション能力や対人関係のスキルについて実践的に学ぶカリキュラム
4. 教育者・保育者としての使命感と豊かな人間性を持ち、常に子どもに寄り添い、子どもを尊重する姿勢を育むカリキュラム
5. 教育者・保育者としての専門的知識や実践的技能を獲得し、さまざまな視点から子どもを理解するカリキュラム
6. 問題意識を持って課題を設定し、現場において実習形式で、教育者・保育者としての実践力を高めるカリキュラム

<アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）>

本コースは、本コースのカリキュラム・ポリシーに基づいた教育を展開し、本コースの学習成果を獲得していくために、以下のような人材を国内外から広く受け入れる。

1. 「順和、礼譲、敬愛、奉仕」の学園訓に共感し、女性の可能性を広げ、地域社会の発展に貢献しようとする人
2. 本学の学びに必要な教養と基礎的知識・技能を備え、主体的に学ぼうとする人
3. 他の意見を聞く姿勢を持ち、自ら考えて判断し、それをわかりやすく伝えようとする人
4. 健康に関心があり、人々の健康増進に貢献したい人
5. さまざまな人とコミュニケーションをとり、積極的に協働しようとする人
6. 子どもが好きで、保育や教育に情熱を持てる人
7. 好奇心が旺盛で、何事にも感動できる人

（公表日：令和7年10月1日）